

常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会 会議録 【要旨】

【日 時】 令和3年10月18日（月）午前10時00分～午前11時35分

【場 所】 常総市役所石下庁舎会議室

次 第

- 1 開会
- 2 説明
 - (1) 保護者へのアンケートの結果報告
 - (2) 今後の学校適正配置の具体的な取り組みについて
- 3 その他
- 4 閉会

出 席 者

委 員：草間 典夫委員，馬渡 剛委員，川島 佑介委員，橋本 武夫委員，中久喜 幸男委員，
瀬高 欣一委員，片野 将之委員，伊藤 和芳委員，深谷 和美委員，
古谷 和之委員，岡野 顕委員，江連 彩委員，小林 麻耶委員，服部 仁一委員，
石塚 哲也委員，宮川 敬子委員

事 務 局：小林 寛明教育部長，西村 聡学校教育課長，黒崎 久男教育政策室長，
金子 浩也教育政策係長，藤田 寛史教育政策係主事

事務局

本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
皆様お揃いになりましたので、これより、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を開会いたします。
私は、常総市教育委員会学校教育課の西村と申します。本日の進行を務めさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。
なお、この検討委員会につきましては、設置条例第6条において、委員過半数が出席しなければ会議を開くことができないとされておりますが、本日の出席委員は25名中16名となっており、会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。
また、今日は、都合によりまして、会長はオンラインでの参加の形をとらせていただいております。今、皆様の前面のスクリーンに映し出す形となっております。
二つの会場を結びまして、進行をしていただくことになっておりますので、よろしくお願い申し上げます。
続きまして、資料の確認をさせていただきます。
順番に、「次第」、「資料1」、「資料2」、「会議要旨」でございます。
以上4点となりますが、資料の不足はございませんでしょうか。
ないようであれば、設置条例第6条に基づきまして、会長に議事進行をお願いいたします。よろしくお願い申し上げます

会長

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。
まずは、「保護者へのアンケートの結果報告について」、ご協議いただきたいと思
います。
事務局から、説明をお願いします。

事務局

【資料に基づき説明】

会長

ありがとうございます。
アンケート調査の結果の説明でございました。
この結果を受けて市でどのように分析しているかも気になるころではあります
が、このアンケート結果から、適正配置そのものについて理解できる、おおむね理
解できるとの回答が約6割、どちらともいえないとの回答が約3割、あまり理解で
きない、理解できないとの回答が約1割となっております。
また、市の組み合わせ案に関して賛同できるかとの質問については、賛同できる、
おおむね賛同できると回答した方が約8割ということで高い数値が出ております。
また、適正配置の時期に関してや、適正配置に関する判断の理由についても、理解
できる人と理解できない人とのそれぞれの回答傾向も説明されておりますので、そ
れを踏まえてご意見をお願いいたします。

委員 A

ご説明ありがとうございました。
今のご説明について2点質問をさせていただきます。

まず第1点目は、問6、問7で、個人を特定されるような記述は省略してあるとのことですが、省略した件数は何件でしょうか。

2点目は、問4を見ますと、組み合わせ案には賛同できないという意見が、A水海道小学校とD三妻小学校でやや高いと思われます。

そうすると、A水海道小学校とD三妻小学校については、市の組み合わせ案以外の組み合わせとして、別の案を考えられるのでしょうか。

この点については地元の方々にご教示いただければと思いますが、いかがでしょうか。

会長 このことについて、事務局でよろしいでしょうか。

事務局 手元に詳細な資料が無く、具体的にはわかりかねますが、10件程度であります。

委員 A それは、問6についてでしょうか。問7でしょうか。

事務局 問7についてです。問6については省略しておりません。

委員 A わかりました。ありがとうございます。

会長 もう1点、ご質問があったかと思えます。よろしいですか。

事務局 事務局からよろしいでしょうか。

これは、あくまでもこの方の意見であります。問7自由意見の40番において、D三妻小学校の保護者の方で具体的な案のご意見がございました。

また、問7の24番のご意見で、五箇小、大生小、三妻小、水海道小の組み合わせ案について、水海道小は地域性の観点から別の方が良いというご意見がありました。同じく問7の32番でも地域性を考えると水海道小は一緒にしない方が良いといったご意見もございます。

会長 ありがとうございます。

補足的な話にはなりますが、自由意見やその他の意見を紹介する場合、回答者が問1から問6までにどのような回答をしたのかわかる形にしたうえで自由意見を記載する必要があります。全体を把握できる形でご紹介された方がよろしいかと思えます。

今の質問に関連することやその他のご意見はありますでしょうか。

事務局 事務局からよろしいでしょうか。

地域の方からというお話もありましたが、私、実は三妻小学校の出身者でありまして、OBとしての発言ということでご理解いただければと思います。

市で示した案は、五箇小学校と大生小学校という組み合わせであります。
ただ、私の小学生中学生の頃の感覚で、三妻小学校と五箇小学校と鬼怒中学校という地域の関連を考えますと、三妻小学校地域の人は、五箇小学校との統合が感覚的に合うように感じるのではないかと思います。
これは地域の卒業生の感覚ということで、発言させていただきました。

会長 O Bとしての発言ということでございました。その他、ご意見ございますでしょうか。

委員 B 全体の回答率が 38.8%になっております。率直に考えますと、50%ぐらいは欲しかったと感じます。
ということは、このアンケートの出し方に問題があったのではないかと疑問に思いました。
回答率 38.8%である結果を、全体意見として取り上げて、方向を決定するというのはいかがなものかと疑問に思いました。
学校で集約してもらう方が、回答率が上がったかと思いますが、これもなかなか難しかったのでしょう。
50%を越すような結果になれば、我々、検討委員会でも全体意見ということで、自信をもって進められるのではないかと思います。

会長 回答率の数値がどのくらいのものかということに関しては、推計を行い計算する必要があります。私としては、この数字が高いか低いかについて明確な基準がわからないところがあります。推計してみなければわかりませんので、ここでの回答は難しいです。

事務局 市役所の一般的なアンケートの傾向について参考までに申し上げます。
市役所で総合計画等の計画を作るときに、無作為抽出で 3000 人対象のような形でアンケートを行います。それぞれに郵送して、返信用封筒を事務局に返していただくという方法になりますが、回答率はだいたい 20%代前半というのがほとんどでございます。
その他、分野別にも実施しますが、20%代になることが多くあります。
数字的には会長から分析のご意見もございましたが、市役所がやるアンケートとして、職員の感覚としては、それなりの数字が出たと感じております。
また、アンケートの配布方法は、各学校の各クラスを通して配布をしていただいております。学校からのアンケートではありませんが、学校も絡んでいただいているアンケートだと保護者の方は把握してくださったのではないかと考えております。

会長

私も某自治体のアンケート調査に関わっておりますが、回答率は3割以下の結果になっています。

その中で、今回のアンケート調査結果を見た際に、第一印象としては悪くはない数字だと思いました。ただ一方で、小学校別に見ますと、岡田小学校は19.1%であります。そこはいいのかどうかというような点もありますが、全体としては、悪くはないと思います。

他にご意見ありますでしょうか。

委員 C

今の意見の補足で、大花羽小学校に限ってのことですが、大花羽小学校1年生の回答が0になっております。この1年生というのは、兄弟がいる保護者の世帯もあり、おそらく、お兄ちゃんお姉ちゃんの方で回答して、下の子では回答してない可能性がかなり高いのではないかと思います。

あと、6年生も児童数は14人か15人はいるのですが、回答数は5人ということで、おそらく、「もう卒業だから関係ない」といった雰囲気や考えがあって回答が少ないのではないかと考えております。

そのような点を勘案し、大花羽小学校に限ると、60%以上70%近い割合で回答があるのではないかと考えております。

会長

大花羽小学校の回答率に関してのご意見でございました。

アンケート調査の結果に関して、他のご意見はございますでしょうか。

委員 D

アンケート結果のとりまとめありがとうございました。

結果については、統合そのものの理解が約6割、市の組み合わせ案に関しての賛同が約8割ということで、保護者の考えが見える形でまとめたのは、一つの大きな成果だと思っております。

回答数の問題はあるかと思いますが、大変参考になる資料であるというのが感想です。

そして、問7自由記述の中においては、スクールバス導入の要望がすごく多くあったという印象を受けております。

皆さんご存知のとおり、現状では、絹西小学校のきぬの里のバスや、三妻小学校の関鉄を利用しての通学があります。そういった通学方法で通学しているお子さん達もいる中で、バランス等を考慮し、スクールバスの導入について、現時点で構いませんので、どのようにお考えになっているかお聞かせいただければと思います。

会長

非常に鋭い論点だと思います。このアンケート自体が意向調査も含めて行っているところがございますので、具体的なスクールバス導入の状況について、現時点でもわかることがあれば事務局お願いします。

事務局 スクールバスについて、この適正配置を実施しますと、通学距離が遠くなる方が必ずいると考えております。
そこを考慮し、適正配置を行う場合に、スクールバスは必須であると考えております。
ただ、委員からお話があった絹西小や三妻小の車両による通学について、どのように整合性をとっていくかという点の具体的な案は、詰められておりません。
とにかくスクールバスについては、導入は必須であると考えているところです。

会長 ただいまご回答もありましたが、これについて、あるいはその他にもご意見ございますでしょうか。

委員 E 他のお母さんとお話したところ、現状の学校に通っている中でも、通学距離が遠い子がいます。スクールバスについては、そのような子も使えるかどうかという話が出ております。
例えば、石下小学校の場合、豊田小学校や玉小学校のお子さんだけが使えるようになるのか、それとも、石下小学校の子も使えるようになるのか、というところで結構悩まれている方が多くいらっしゃいました。

会長 現状に関してのご意見ということでした。

事務局 今のご意見に対して、意見させていただいてよろしいでしょうか。

会長 お願いします。

事務局 スクールバスの利用について、現時点で決定ではありませんが、教育委員会の内部で話している内容では、適正配置を行って、対象となった学校から順次、現在通っている学区のお子さんを、対象となる小学校にお送りするというような考え方で進めているところでございます。

会長 最後にも、ご意見をお伺いすることになると思いますが、他にアンケートに関してご意見ございますでしょうか。

委員 B 先ほどの話で、アンケートの回答率 38.8%ですが、4 ページに 0 という文字がたくさんあり不思議に思いました。
これは、兄弟姉妹の子供たちの件数が重複していて、38.8%になっていると思うのですが、これについては、重複している子供たちの件数を考慮し、計算するほうがいいのではないのでしょうか。仮に公表する場合、38.8%という数字はあまりにも少なすぎると思います。先ほども、市役所のアンケートで無作為抽出の話もありましたが、今回は、対象者が特定されておりますので、50%を割るとするのは聞こえの

悪い結果なのではと思います。

以前にも申し上げましたが、この適正配置の問題は小学校の100年以上の歴史を背負っているものであり、シルバー会やその他の関係者に至るまで関係する問題になりますので、せめて50%ぐらいは欲しかったと欲しているところでもあります。

会長

回答率に関してのご意見でした。

趣旨についての確認で、誤解があった場合申し訳ありませんが、もう一度アンケートを実施したほうが良いということでしょうか。

委員 B

いえ、アンケートをもう一度実施するというのではなく、この0という結果の書き方についてです。

これは、兄弟姉妹で重複しているケースがあるのですよね。

事務局

事務局から0の部分に関してご説明させていただきます。

この0の部分の表し方について、もう少し違う表現をすればよかったですと思いました。申し訳ございません。

この0については、表の横軸は学年を表しており、横軸のGからIに関しては、中学1年から中学3年を示しております。そのため、縦軸の小学校に関する欄は0になっております。また、横軸AからFまでは、小学1年から小学6年を示しております。そのため、縦軸の中学校に関する欄は0になっております。

0という表現でない表現がよかったですと反省しています。申し訳ございません。

委員 B

確かに0という表現はよくないです。

また、先ほど話がありましたように、同じ世帯で2人3人兄弟姉妹がいる場合に、表現の仕方や表示の仕方を変えると、回答率が50%もしくは60%に伸びるのではないのでしょうか。

事務局

今回のアンケートにおいて、兄弟姉妹がいる方で1つの世帯に何人かお子さまがいる場合には、1人の児童生徒につき1回ずつ回答をしていただくようお願いしているところでもあります。

例えば、ご家庭に3人のお子さまがいる場合には、お子さまごとに3件分の回答をしていただくようお願いしております。

ただ、委員のお話にもあったように、ご家庭にお子さまが数人いても、1件の回答で終わりにしてしまった方がいる可能性もあります。

委員 B

それでは、結果的に38.8%は正解ということになるわけですね。

この件については了解しました。

会長 他にございますでしょうか。
ご意見の手は挙がっていないようですので次に移ります。
次に、次第の2の説明の2として、「今後の学校適正配置の具体的な取り組みについて」、ご協議いただきたいと思います。
事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料に基づき説明】

会長 ただいま、事務局より保護者アンケートを踏まえて、第1段階への対応、統合開始時期の目標、今後の進め方の3点についての説明がありました。
また、今回の委員会で了解をいただきながら進めていくということでございます。
これに関して質問、ご意見ございますでしょうか。

委員 F 保護者アンケートを踏まえての第1段階の対応ということで、事務局の方から統合の目標年度を明確に示していただいたことは、これから実際に動き出していく中の一つの目安となるので、よかったと思っております。
そして、アンケート結果から適正配置は「すぐに必要」、待ったなしというような声があり、数値化されたものも私たちの目に飛び込んできました。統合の目標年度について、「すぐに必要」という声を受けて、最短で、遅くともという形で年度が示されております。
先ほど他の委員からのお話にもありましたが、100年以上の歴史を「つなぐ」という点で、歴史や思い出を継承していくことを考え、また、現在在籍している児童生徒の学校に対する「思い」や「愛校心」を感謝という形で、学校行事の節目節目で感じ取ってもらいたいと考えております。
このようなことを考えたときに、「最短で」それから「遅くとも」と示された記述のとらえ方を、話し合いの中で、よく練って考えていただきたいです。待ったなしで急ぐのであれば、そういった点も踏まえて、計画の中に織り込みながら進めていただきたいです。少しじっくり時間をかけながら、移行していこうということであれば、ゆとりを持ってという考えもあるかと思えます。
現状の声を十分に考慮し、記述のとらえ方を勘案しながら進めていただければありがたいと思います。
すぐという声を受けての二つのとらえ方を、今後の話し合いに活かしていただければと思います。

会長 事務局で何かございますでしょうか。

事務局 実際には来年度から複式学級が3クラスになるということが予想されており、教育環境という意味で、教育委員会としては、すぐにでも適正配置を実施していき、教育環境を整えたいという気持ちでございます。

ただ、委員の意見にもありましたが、大花羽小学校にしても、100年を超える歴史を持つ学校であります。歴史については、非常に重く受けとめており、保護者の方、地域の方、今通っている児童の皆さんの気持ちを重くとらえるべきと考えております。学校としての長い歴史を重くとらえながら、「最短で」「遅くとも」という部分については、これから個別に地域に入っていく中で、保護者の方、地域の方のご意見を十分に聞いて判断をしていきたいと考えているところであります。

会長 ありがとうございます。他にご意見をお願いします。

委員 G 小学校の子供たちの様子を見ている中から、意見として言わせていただきます。ここ2年間、コロナ禍の特別な環境下で、子供たちは我慢を強いられています。給食も前を向いて話をしないで食べる。常にマスクをして生活をする。子供たちと遊ぶときにも、距離をとりながら遊ぶ。そのような我慢の生活を2年間しております。その中で、先ほど委員からもお話がありましたが、子供たちは、今の環境で何ができるかということをお子で知恵を出しながら考え、何とか学校の中で友達と思いを築き上げようと学校生活に臨んでおります。そういう子供たちの思いを考えたときに、大花羽小学校の最短で来年4月1日という案は、子供たちの精神的なことを思うと、率直に申し上げまして、甚だ疑問に思っているところでございます。子供たちの「精神」「心」というものを最優先に考えて進めていただきたいと思っております。

会長 ただいまのご発言について、事務局、何かございますでしょうか。

事務局 委員のご意見について、そのとおりであると思っております。子供たちの気持ちの部分について、子供たちが不安に思うことや学校生活がままならないようなことになってしまえば、本末転倒の話になってしまいます。令和4年4月1日の案を複式学級という教育環境の点から当初の目標に置きましたが、委員のご意見のように、事務局としても、現実的には令和4年の4月1日というのは難しいのではないかと考えているところでございます。

会長 他にいかがでしょうか。

委員 D 市のホームページに適正配置の取り組みについて公表されているかと思いますが、それを受けて保護者の方からよく聞かれることが2点あります。まず1点目は、第1段階、第2段階、第3段階という表記について、これはだいたい何年後のことを言っているかということです。2点目が、統合する場合、どちらの小学校に統合されるかという点です。

1点目については、3回目の委員会でも質問させていただきましたが、保護者の方は、自分の子供が通っている学校がいつのタイミングで統合されるのかという点を一番気にされております。ホームページにも、その段階ごとのタイミングについて、概ねの時期を載せてみてはいかがでしょうか。

2点目のどちらの学校に統合になるのかという点について、これについては、校舎の老朽度合いも勘案しなければいけないと思いますので、すぐには判断できないと思います。

ただ、判断できない理由があるのであれば、明記することにより、さらにわかりやすくなるのではないかと思います。

やはり、保護者の方と話をすると、この統廃合について、見ている方はすごくチェックしているという印象を個人的に受けております。

興味のある方は、隅から隅まで、チェックしているという印象です。

そういった中で、この後行われる保護者説明会や地元説明会で、揉めてしまって、この構想が停滞してしまうということを未然に防ぐためにも、出せる情報は、今から積極的に出しておいたほうがいいと思います。先ほどお尋ねしたスクールバスの件についても、教育委員会では、必須だと考えているというご回答をいただきました。そのあたりの部分も、もし出せるのであれば出しておいたほうがいいかなと思います。おそらく不平不満というのは必ず出ると思います。不平不満はでると思いますが、それが大きくなる前に、意見が出た段階から細かく対応していれば、後々、大きな不満として問題になることはないのではないかと思います。

保護者説明会をするときに、初めて多くの情報をまとめて出すと、保護者の方や地域の方は、すぐには受け入れられずに、それに対して反発が起き、ここまで議論してきたことが頓挫してしまうということを個人的に懸念しております。きめ細やかな対応が今後必要になってくるかと思えます。

会長

ありがとうございます。情報提供に関して、提案も含めてのご意見でございました。これに関して、事務局の方でございますでしょうか。

事務局

まず1点目について、ホームページにアップしてある資料に実施時期が入っていないということですので、そこについては再度確認をいたします。

適正配置実施時期について具体的に申し上げますと、第1段階が1年から2年、第2段階が3年から5年、第3段階が10年から15年程度でございます。

2点目の施設の件についてですが、委員のおっしゃるように施設のキャパシティの問題と、施設の老朽化の問題が非常に大きく関わってきます。

それについては、問題や課題を考慮し、新しい校舎を建てることも選択肢の一つとして、今後、検討していくというような説明がよろしいかと思えました。

3点目の出せる情報は出した方がいいという点については、全くそのとおりだと思っております。

見えない部分で議論し、後ほど、公になる形は避けたいところでございます。資料

はすべてオープンにし、内容的にも会議要旨を載せる姿勢であります。
他にも情報として載せたほうがいいというお気づきの点がございましたら、アドバイスを頂戴できればありがたいと思います。

会長 ありがとうございます。もう一人お願いします。

委員 B 学校とPTAと地区と児童生徒それぞれの統合に対する意見を、いつも聞きたいと思っております。ですから、校長先生のほうで今までの意見について、なにかご意見いただけたらと思うのですがいかがでしょうか。

会長 この件について、事務局ございますでしょうか。

事務局 その辺の考え方について、事務局でも考えていた点がございますので、先に発表させていただきますてよろしいでしょうか。

会長 はい。お願いします。

事務局 今、委員のご発言にあった学校側の考えという部分について、これから個別対応の形で、地域に説明の場を移し、各個別の学校に移っていくことになります。
その際には、教育委員会、保護者の方、さらに学校もその話の中に入ってきます。その中で、個別の各学校の立ち位置や考え方も、話し合いの中に入れてくるものと考えております。

会長 よろしいでしょうか。

委員 B 今回の段階で意見はないということでもいいのですか。

事務局 個別のお話について、学校から意見を頂戴することはございます。
ただ、それは学校としての公式見解ではありません。今のところ学校については、情報をこちらから流して、それについて学校は、教育委員会の動きを把握していただくという段階であると考えております。

会長 よろしいでしょうか。

委員 H 先ほどのご意見で、情報をオープンにするということもあり、とても重要なことではありますが、普通の方々は市のホームページを見ることは少ないのではないかと感じております。
市のホームページ以外でも、小中学校適正配置に対する情報を発信し、皆さんに知っていただくことが大事だと思っております。

今後、子供たちが合併先の学校に行く中で、子供たちがいかに溶け込めるかというところが大事だと思います。他市で小学校合併した際の対応を知ることや合併先の小学校へ行き、体験してみることも必要だと思います。

会長 ご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 E トラブルを未然に防ぐという点で、ある程度どんな質問がでるのかを、事務局の方でも予想されているのではないのでしょうか。
例えば、母親目線では体操服の問題が頭に浮かびました。3校が合併した際に、それぞれ買い替えるのか、それとも今通ってる学校のままでいいのかという点もございます。些細なことかもしれませんが、そういった点から不満がでてしまうかと思われれます。もし可能であれば、現時点の考え方も含めて質疑応答のような形で示して頂けるとわかりやすくなると思います。

会長 ありがとうございます。他のご意見ありますでしょうか。

委員 I 私の地区の保護者の方からでた意見では、先ほど委員からあったような年数やスクールバスについての意見がありました。ただ、保護者の皆さんは基本的に、子供が少なくなってしまうとは学校は成り立たないということは理解しております。その中で、タイムスケジュールが一番心配しているところであります。
特に体操服の買い替えのことについても多く聞かれることがあります。
この委員会の進め方を拝見しますと、年度末に向けて、今後の第2段階、第3段階のタイムスケジュールも決まってくるということでもよろしいのでしょうか。
どのくらいの時期に説明会が行われ、どのくらいの時期に統廃合が決まってくるのかというおおよそのタイムスケジュールを保護者の皆さんは知りたいとおっしゃっていただきましたので意見として述べさせていただきます。

会長 ご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
よろしいでしょうか。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。
本日いただいたご意見をもとに、引き続き事務局とともに委員の皆さままで議論を続けてまいりたいと思います。ご協力をお願いいたします。
以上で説明が終了となりますがその他ご質問、または皆様から何かございますでしょうか。

委員 C 大花羽小学校の統合が1年から2年後となっておりますが、そのあとにもう一度統合される組み合わせ案となっております。そこで、大花羽小学校に通っている子供たちが2回移動するということは、できれば避けてもらいたいと思いました。
大花羽小学校の学区内で、豊岡小学校に通っている人が何人かいます。その子たち

は地元の子供会活動に参加できずにいる状況があります。
根本的な問題にはなりますが、大花羽小学校は豊岡小学校と統合していたただければ、地元の子供会の活動にも参加できるようになり、いいのではないかと思います。

- 会長 ご意見ありがとうございます。他によろしいでしょうか。
 貴重なご意見ありがとうございます。それでは、進行を事務局にお返しします。
- 事務局 皆様におかれましては、貴重なお時間を頂戴いたしまして、慎重なご審議をしていただきました。ありがとうございました。
 以上をもちまして、令和3年度第4回の常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会を閉会させていただきたいと存じます。
 次回の会議につきましては、また改めてご通知の方を発送させていただきたいと存じます。その際にはよろしくお願ひ申し上げます。
 会議の進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
 以上をもちまして閉会といたします。

(終了午前 11 時 35 分)